

注3

大学番号：私296

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

相愛大学 音楽学部 音楽マネジメント学科

注2

【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人相愛学園

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名

電話番号 06-6612-5902

（夜間） 06-6612-5900

F A X 06-6612-2994

e-mail g-shitsu@soai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

音楽学部

<音楽マネジメント学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 既設大学等の状況	2
3. 教員組織の状況	3
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 相愛学園

(2) 大学名

相愛大学

(3) 大学の位置

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4番1

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4丁目1番23号 (2年次から使用)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称、定員等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
音楽学部 音楽マネジメント学科 学士(音楽マネジメント)	4 年	50 人	— 年次 人	200 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	相愛大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍		大阪府大阪市 住之江区南港中 4丁目4番1 音楽マネジメント学科 は、2年次より、 大阪府大阪市中央区本 町4丁目1番23号 も利用		
音楽学部										
音楽学科	4	100	-	420	学士 (音楽)	0.64	平成 12年度		平成26年度より 入学定員・収容定員変更	
音楽マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (音楽マネジ メント)	0.33	平成 23年度			
人文学部										
日本文化学科	4	-	-	-	学士 (人文学)	-	昭和 59年度		平成25年度より 学生募集停止	
文化交流学科	4	-	-	-	学士 (人文学)	-	平成 23年度		平成25年度より 学生募集停止	
人文学科	4	90	-	360	学士 (人文学)	0.74	平成 25年度			
日本文学・歴史文化コース		(25)	-							
大阪・サブカルチャーコース		(10)	-							
仏教文化コース		(10)	-							
心理コース		(25)	-							
国際コミュニケーションコース		(10)	-							
ビジネス・社会コース		(10)	-							
人間発達学部										
子ども発達学科	4	80	-	360	学士 (子ども発達学)	0.80	平成 18年度	平成27年度より 入学定員・収容定員変更		
発達栄養学科	4	80	-	340	学士 (発達栄養学)	0.83	平成 18年度	平成26年度より 入学定員・収容定員変更		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

3 教員組織の状況

<音楽学部 音楽マネジメント学科>

(1) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)
6	2	1	0	9	4	2	2	0	8
(5)	(2)	(1)	(0)	(8)					

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

(2) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢 (歳)	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
68 歳	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>・音楽学部音楽マネジメント学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>音楽学部2学科の改編を含めた抜本的な改革の検討を行うべく、平成26年10月に学長主導により設置した「音楽学部改革検討委員会」（委員長は学長）において、最終確認した「音楽学部改革基本方針」（平成27年5月）に沿って、平成29年度からの音楽マネジメント学科の定員変更について、平成28年2月18日開催の大学評議会での審議の後、平成28年3月29日開催の理事会において、入学定員をこれまでの50名から20名（収容定員は、学年進行とともに減少させる）とする学則の変更を決議した。</p>	<p>左記の決定に伴い、平成28年5月に、音楽マネジメント学科の「収容定員の変更に係る学則の変更」の届出を行うことにしている。</p> <p>その他、音楽マネジメント学科の平成29年度入学試験において、試験科目の変更を行い、これまで高等学校等で音楽を専門的に学んでこなかった生徒にも門戸を広げることにしている。</p> <p>また、引き続き、「音楽学部改革検討委員会」において、今後の音楽学部のあり方について、改革の検討を継続する。</p>
<p>・人文学部人文学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成27年9月に学部内に「人文学部改革検討委員会」（委員長は学部長）を立ち上げ、人文学部の学生募集活動の対策を検討するとともに、教育内容・方法のさらなる充実を図るために、平成27年度内に計5回の会議を行い、これらの未充足率への対策として、オープンキャンパスへの参加者増をめざすべく、学部内で「オープンキャンパス委員」を選出し、オープンキャンパスでの実施イベント等の見直しと充実に傾注した。また、更なる留学生の受け入れをめざし、平成28年度の入学試験において、新たに、日本語学校長等の推薦による、「留学生推薦入学試験」を実施した。この入試での留学生の志願者数は、合計14名（内、合格者は9名）を数えた。</p> <p>これらの改革の実施に伴い、平成28年度の入学者数は、83名（入学定員充足率0.92）となった。</p>	

<p>・既設学部等（音楽学部音楽学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>音楽学部音楽学科の平成25年度以前の4年間の平均入学定員充足率が0.68倍という状況であったことや、近隣の音楽関係の学科を持つ大学等と同様に近年の音楽分野の志願者数が減少していること等から、平成26年4月から、それまでの入学定員120名を100名に、同じく収容定員480名を400名とした学則の変更を行った（平成25年5月届出）。しかし、平成26年度の入学定員に占める入学者比率が0.61倍に留まったことを受け、音楽マネジメント学科を含めた、音楽学部のあり方について抜本的な検討を行うために、平成26年10月に「音楽学部改革検討委員会」を立ち上げ、両学科の改編をも視野に入れた抜本的な改革の検討を重ねているところである。</p> <p>また、高等学校での吹奏楽部をターゲットとした「吹奏楽コンクール課題曲講習会」を開催したり、オープンキャンパスでの担当教員による「ワンポイントアドヴァイスレッスン」の実施や、オープンキャンパス参加者が自由に演奏できるようにホールを開放したりして、本学に興味・関心を持ってもらうための取組みを拡大させる一方、音楽学部の一部学費の減額と納入方法の変更により、1年間にかかる費用の平準化を行うなどして、学生募集活動に力を注いできた。</p>	<p>「音楽学部改革検討委員会」において、併設する高等学校、音楽教室、ジュニアオーケストラ等との連携強化を決定し、大学への進学につながるさらなる方策を検討・実行することとしている。</p> <p>また、入学試験においては、音楽学専攻、音楽療法専攻の試験科目・内容の変更を行い、幅広く受験生を募集する対策を施すほか、奨学金の配分方法等を見直すなどし、平成29年度の入学者増に向けての取組みを強化することとしている。</p>
--	-------------	---	--

(注) ・前年度のA C調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。